

# 土砂災害・洪水ハザードマップの使い方

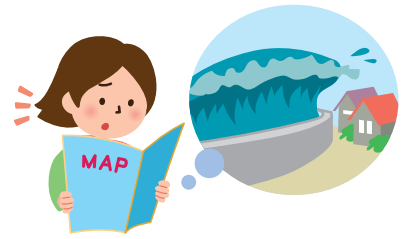
## ① 家の位置を確認しましょう

あなたの家の場所をマップに書き込みましょう。



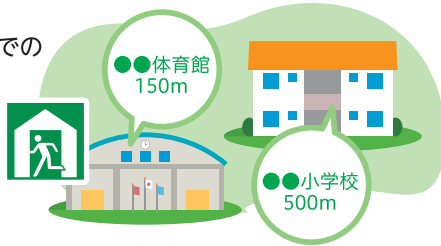
## ② 家の周りの災害の危険性を確認しましょう

あなたの家は浸水が想定されている区域ですか？  
土砂災害(特別)警戒区域ですか？



## ③ 避難所を確認しましょう

最寄りの避難所や次に近い避難所までの距離を確認しましょう。



## ④ 避難経路を考えてみましょう

災害の危険性や狭い道路を避け、安全な避難経路を確認しましょう。



## ⑤ 実際に避難所まで歩いてみましょう

地図で選択した避難経路が安全かどうか、その他の避難経路についても確認しましょう。



## ⑥ 災害や避難について、話し合ってみましょう

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。



自助

連携

共助

公助

## 「自助」「共助」「公助」

「自助」「共助」「公助」という言葉を知っていますか。

被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが連携し、災害への対応力を高めることが大切です。

### 自助

#### 自分の命は自分で守る

自分の身を自分で守るための備えと行動を自助といいます。土砂災害・洪水ハザードマップから災害に関する知識を身につけ、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいかを考え、災害に対する準備をしてください。

### 共助

#### 自分たちの地域は自分たちで守る

近隣住民の方々と協力して、地域を守るための備えと行動を共助といいます。災害が起きたときには、地域で協力して被害を最小限に抑え、被災した人を救助することが必要です。災害時に円滑に協力するためには、日頃から地域の防災訓練に参加するなど、災害時に協力して対策にあたる態勢を作っておくことが重要です。

### 公助

#### 行政などの公的機関による対応

国、静岡県、松崎町、警察、消防などの行政機関、ライフライン機関といった公的機関による災害対策を公助といいます。各機関とも、災害の発生からできるだけ早く災害対応にあたるよう、備えています。

## 自助・共助・公助の連携

自分を中心に考えると、災害の直後に自分を守るのは、**自助**の力です。自分ひとりでは対応できない状況になったとき、頼りになるのは、**共助**です。**公助**はその支援に限界がありますが、自助や共助では解決できない困難な問題に対応できます。これらの連携が、地域、そして自分の被害を最小限に抑えるために必要なことです。